

# にらさき

23年度予算総額228億円 ……	P2
予算審査の内容 ……………	P4
常任委員会報告 ……………	P5
ここが聞きたい（一般質問） …	P6

P11に議会報告会開催  
概要があります



(市民交流センター内のイメージイラストです)

9月オープン予定の市民交流センターには、市民会館機能に加え、広々とした市立図書館や子育て支援センターが開設されます。

# 平成23年度

# 当初予算総額228億2千万円

〔一般会計125億円、特別会計(14会計)65億円、企業会計(2会計)37億円〕

3月定例会は、3日から24日までの22日間の会期で開催しました。

前年度より1.7%増の228億円余となった23年度当初予算を中心に、条例の制定や改正、22年度の補正予算など49案件を審議し、すべて可決しました。

一般質問は14、15日の2日間に9議員が登壇し市政について市長の考えをただしました。

## 〔条例制定(全部改正)〕

### ◆ 蕪崎市放課後児童クラブ条例

保護者が共働等により昼間家庭にいない児童等の健全な育成を目的とする放課後児童クラブの運営及び利用について条例を制定しました。

### ◆ 蕪崎市穂坂自然公園条例

今年の7月オープン予定の、自然との触れ合いの場を提供する穂坂自然公園の設置、施設に関する規定等を定めるための条例を制定しました。

## (一部改正)

### ◆ 蕪崎市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

退職手当支払い後、在職期間中に懲戒免職処分を受けるべき行為があったと認められた場合、手当の返納を命ずることができると、新たな支給制限や返納等に関する規定を設けるための国家公務員退職手当法の改正が行われたことを受け、これに準じて条例を改正しました。

### ◆ 蕪崎市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

職員の夏季休暇の取得率を向上させるため、県内他市の状況などを勘案し改正しました。

### ◆ 蕪崎市手数料条例の一部を改正する条例

住民基本台帳カードの普及促進を進めるため、交付手数料の無料期間を1年間延長しました。

### ◆ 蕪崎市重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

前年度所得状況に関する届け出について、受給者等の届け出義務から公簿等により確認できる場合は届け出を省略できるよう改めました。

◆ 蕪崎市長寿祝金支給条例の一部を改正する条例  
長寿祝い金の支給について制度の見直しを行いました。  
100歳30万円、翌年度以降10万円を  
100歳10万円に

◆ 蕪崎市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例  
敬老祝い金の支給について制度の見直しを行いました。  
80歳以上の者3千円を  
77歳の者5千円に  
88歳以上の者5千円を  
88歳の者1万円に

(平成23年度は77歳から80歳の者5千円)

### ◆ 蕪崎市グリーンロッジ設置、管理及び使用料条例の一部を改正する条例

グリーンロッジの炊事場、シャワーのみの利用者に対応するため1人1回1000円の利用料を設定しました。(20人以上の団体は2千円)

◆ 蕪崎市企業立地支援条例の一部を改正する条例  
山梨県の企業立地への支援制度の期間が延長されることとなったため、支援金の支給を4年間延長しました。

### ◆ 蕪崎市国民健康保険蕪崎市立病院設置等に関する条例の一部を改正する条例

医療環境のさらなる充実を図るため、蕪崎市立病院の標榜する診療科に麻酔科を増設する。(廃止)

◆ 蕪崎市心身障害児童年金支給条例及び蕪崎市心身障害者年金支給条例を廃止する条例  
市単独の心身障害者への年金支給制度を見直し廃止する。  
年1回2千円、4千500円を廃止

## 【その他案件】

### ■土地及び建物取得

独立行政法人 雇用・能力開発機構が所有している旧雇用促進住宅（高高原・祖母石・藤井・竜岡）の敷地及び建物を購入し、葦崎市定住促進住宅として管理運営していくため取得する。

土地	取得面積	22,010.89㎡（7筆）
	取得金額	121,396,313円
建物	床面積	16,947.48㎡（17筆）
	取得金額	104,772,151円

### ■市道の廃止及び路線認定

以下のとおり市道の路線番号を廃止及び認定しました。  
市道（藤井）6号線→市道（藤井）108号線、塩川幹線→市道（藤井）6号線、市道（神山）10号線に農道の一部を編入、市道（大草）53号線を市道認定

### ■葦崎市定住促進住宅の指定管理者

葦崎市定住促進住宅の指定管理者となる団体を、KBSグループ（代表団体：甲府ビルサービス(株)）としました。

## 平成23年度当初予算における 新たな事業

#### ◆子育て支援センターの開設

- ・市民交流センター内に、県内随一の規模と機能を備えてオープン

#### ◆保育園機能の充実

- ・葦崎西保育園において土曜日の1日保育実施
- ・市立病院内に病院夜勤者の院内保育施設及び病児・病後児保育室を設置

#### ◆保健、医療の充実

- ・ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの公費全額助成
- ・市立病院に常勤麻酔科医師採用
- ・社会福祉士の増員

#### ◆社会福祉の充実

- ・老人福祉センター並びにデイサービスセンターの空調設備や大広間放送設備更新
- ・在宅高齢者等の介護用品クーポン支給制度導入

#### ◆市民生活

- ・住民票・印鑑登録証明書のコンビニ交付サービス開始
- ・市民バスに高齢者・障害者

- ・割引やホリデー割引導入
- ・穂坂町三之蔵・日之城をモデル地区としてデマンドバス試行

#### ◆定住促進

- ・転入者に対する新築、中古住宅取得助成制度創設
- ・4か所320戸の雇用促進住宅を取得

#### ◆道路整備

- ・市道（葦崎）9号線若宮1丁目交差点拡幅整備

#### ◆穂坂自然公園

- ・休憩施設など関連整備が完了し、7月オープン予定

#### ◆商工業

- ・3回目「ふれ愛商品券」発行

#### ◆市民交流センター

- ・生涯学習の新たな拠点として、葦崎駅前に市民交流センターが、9月オープン予定です。なお、市民会館機能を全て移行するため、市立図書館を3月末で閉館し、市民会館の一般貸出を7月15日で終了のうえ9月1日市民会館を閉館します。

## 【平成23年度当初予算額】

会計名	平成23年度予算	対前年度	
		増減額	増減率
一般会計	125億5,500万円	△ 7,200万円	△ 0.6%
特別会計	国民健康保険	1億6,229万7千円	5.5%
	後期高齢者	△ 140万9千円	△ 0.6%
	老人保健	△ 44万円	皆減
	簡易水道	△ 9万4千円	△ 0.8%
	下水道事業	4,463万3千円	3.8%
	介護保険	1億3,255万6千円	7.3%
	介護サービス事業	33万6千円	3.1%
	恩賜林保護財産区	△ 47万3千円	△ 11.7%
水道事業	収益的	1,824万4千円	△ 2.2%
	資本的	△ 642万円	△ 1.8%
市立病院	収益的	6,714万3千円	3.1%
	資本的	7,526万8千円	37.7%
合計	228億2,458万円	3億8,315万3千円	1.7%

# 予算審査

財務常任委員会に付託された平成23年度当初予算（9案件）及び平成22年度補正予算（10案件）について、審査を行いました。

補正予算については開会日当日委員会に付託され、本会議終了後審査を行いました。補正予算の採決では、すべて原案のとおり可決すべきと決しました。

また、当初予算については、3月17日・18日の2日間にわたり慎重に審査を行いました。採決では「平成23年度一般会計予算」「平成23年度葦崎市国民健康保険特別会計予算」の2案件について、異議がありましたので挙手による採決の結果、可決すべきものと決しました。その他の案件については原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、本会議でも採決については同様の結果となりました。

## 平成23年度当初予算（質疑の内容（抜粋））

### 議会費

問 議会費の予算比率が1・2%から1・8%に増加した理由は、議員年金廃止による共済費が6月分より廃止されるための負担金支払いの関係だと思いが。

答 平成23年6月1日付けで議員年金共済が廃止となるため、一般財源で支出をするものです。

### 総務費

問 行政アドバイザー設置経費の内容と昨年度の実績は。

答 今年度は、長期総合計画地方財政改革、事務事業評価などの講師謝金を予定しています。昨年度は講師の先生への謝礼と会の開催などに費やしました。

問 市長交際費の内容について。

答 交際費1,000千円の内容は、慶弔関係が70%を占めています。残りが市長等の会議費です。

問 デマンドバス試行運転についての場所の選定方法及

びどのような方式で行うのか。

答 地域の選定は、市内に公共交通機関が走行していない地域で、高齢化などを勘案して選定し、試験的に穂坂町を中心に考えた。

また、時間及び停留所の設定をおこなった。バスは20人乗りを予定し予約してもらおう。料金は300円とし、7月から3月の実施期間を予定している。

問 市民交流センター管理運営事業費の準備経費、指定管理料について。

答 指定管理の管理運営委託料は58,000千円程度で準備費はセンター内の消耗品、消火器の詰め替えなど施設の概要書などです。

### 民生費

問 放課後児童クラブの有料化について、議会で議論する前に広報に載ったことについて。

答 非公式の会議ではないが、全員協議会の中で説明して3月の広報に掲載した。そのとき料金についても意見があったので、当初予定の

施設使用料金を減額し、4月からの利用者の混乱を招かないようにした。

問 医療費助成事業について昨年より17,000千円くらい増額したが、これは中学3年生までの助成分と考えていいのか。

答 小学校までの医療費助成が、平成23年度から中学生までの医療費が拡大したためである。

問 東保育園に駐車場がなく、保護者や職員から苦情が出ていたが、今回の予算の計上で駐車場整備を行うようだが内容は。

答 今までは、朝夕の送迎については近所のスパーや企業の駐車場をお借りしていた。職員も近くの有料駐車場を利用していたので、今回の予算で保育園の南側800㎡を転用して予算1,000千円程度で整備するものである。

問 民生委員の活動費の内訳と地域別での充足は。

答 民生委員は国の法律の中で報酬の支払いができません。活動に伴う車代、必要最小限の準備経費である。充足については、国の基準があるが、地元の増員希望

があるので国・県に要望した。

### 衛生費

問 ダムの受水費は昨年と比べて増えているか。

答 昨年と変わりませんが、うるう年などでは若干変わりますが平成23年度は357,399千円計上してある。

問 ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンは4月から本市でも無料で受けられることとなりました。事故により現在中断されておりますが、本市でのその後における経過は。

答 専門委員会が2回開催されましたが、まだデータが少ないため議論にはなっていない。

### 農林水産業費

問 県営畑地帯灌漑事業が平成23年度で満了になる予定とあるが180haの加入率は。

答 現在32%である。

問 穂坂自然公園管理事業で休憩施設は7月オープンするようだが、運営管理について。

管理運営については、今のところ緊急雇用の事業を活用して管理人をおく予定である。

## 商工費

プレミアム商品券の今年度の実施について

今年度も110,000千円分とし、期間は2月29日までとする。

## 土木費

西町の筆界未定地解消事業の状況は

残りの地権者2件のうち、1件1筆の法定相続人15名中12名の寄付申し込み済、残り3名は口頭申し込みをいただいている。

## 教育費

小中学校パソコン設置事業は単年度か複数年か。

設置は5年の契約である。

地域の体育館管理事業の来年度の修繕計画は。

円野体育館と神山体育館の屋根を塗装する予定である。

# 委員会活動報告

## 総務教育常任委員会

【3月定例会会期中の委員会】

(傍聴者3人)

《請願審査》

請願第2214号

普天間基地の無条件撤去を求める請願について

↓ 継続

〔主な意見〕

- ・ 国の対応が不明確である。
- ・ 日本とアメリカの問題で話の自身が整理できない。
- ・ 日米安全保障の傘下で、日本の安全が守られている。
- ・ 無条件撤去でいいのか。
- ・ 毎日の生活が脅かされているわけだから、無条件でも撤去すべきである。
- ・ 国の立場からすれば普天間は必要であるが、人道的立場からは撤去すべきである。

↓ 継続に賛成4名、反対2名

《その他審査内容》

各関係課長から、現状報告と概要説明を求め質疑を行った。

## 市民生活常任委員会

【3月定例会会期中の委員会】

《審査内容》

議第1号

「子ども手当」の財源を、全額国が負担するよう求める意見書の提出について

↓ 採択

《その他審査内容》

各関係課長から、現状報告と概要説明を求め質疑を行った。

## 産業建設常任委員会

【3月定例会会期中の委員会】

《請願審査》

請願第2218号

環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)に参加しないことの見解を求めめる請願

↓ 採択

請願第2311号

TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への交渉参加阻止に関する請願書

↓ 採択

請願第2313号

韮崎市に「住宅リフォーム助成」制度を求めめる請願

↓ 採択

《その他審査内容》

各関係課長から、現状報告と概要説明を求め質疑を行った。

## 「旧ルネス」活用特別委員会

《視察》

韮崎市民交流センターの進捗状況を視察

1階 総合事務室、市民プラザ部分、公民館部分、テナント部分など

2階 市立図書館部分など

3階 市民プラザ部分、子育て支援部分、テナント部分など

屋上 駐車場、太陽光発電施設など



# 一 般 質 問

## にらさきの まちづくり ここが聞きたい

### 9人の議員が市政を問う

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。  
詳細な内容は、[葦崎市ホームページ⇒議会⇒会議録](#)で見ることができます。録画中継も配信しています。



**西野 賢一 議員**  
[葦政クラブ]

#### その他質問

- ◆消防団備品支給について
- ◆火の見やぐら改修について
- ◆東中、葦高グラウンド人工芝化について

#### 子宮頸がんワクチン 接種、市の対応は

**副議長** 市の現行の対象者に加え、新たに対象者となった高校1年生への対応とその個人負担10%の取り扱いについて、市の対応を伺います。

**宮市長** 高校1年生への対応は、既の実施している小学6年生及び中学3年生と同様に、対象者全員に助成券・予診票等を送付しました。また、個人負担金取り扱いについては総合的に判断し、全額公費負担としました。

#### 市立図書館へ電子 図書導入について

**副議長** 最新の図書館には電子書籍は必要と考えます。数年後には教科書も電子化されるとも聞いております。電子書籍は体験目的としても必要と考えます。

**宮市長** 工事の進捗状況は、3月末におおむね全体の52%を終える予定であり、工程どおり順調に推移しており、図書館オープン後に整備を予定する電子書籍につきましては、甲斐国史などの貴重な文献や公共性の高い辞典などを葦崎市立図書館システムのオンライン、データベースとして今後発信していく考えです。

#### 消防団の人員、編 成について

**副議長** 団員確保に苦勞しているのが現状です。効率的に活動するには、団員数、部、班編成の見直しとの声も多くあります。団員確保のために、余計なストレスを与えてしまうのはいかがかと思うが。

**宮市長** 人員、部、班編成については、現在市消

防団で消防団活性化検討会を設置し、消防団員の実態把握を進めております。市では、この結果をもとに団員確保対策や部班の再編、施設装備の更新、地域との連携等について消防団、自治会、関係機関と対応してまいります。

#### 水神町地内通学路 信号機について

**副議長** 県道武田八幡神社線から本町に交差するT字路の現状を見ますと、子供たちの通学にも危険で支障を来す状況にあります。信号機設置をお願いしたい。

**宮市長** 県道武田八幡神社線と本町通りへの交差点へ新たな信号機の設置を検討するよう回答がありましたので、地域の要望に基づき、警察署を通じて県公安委員会に要請してまいります。



石井 錦一 議員  
【葦和クラブ】

その他質問

- ◆都市計画事業の見直しについて
- ◆七里台上開発について
- ◆市立病院の運営について
- ◆市道(清哲)1号線桐沢橋に照明灯の設置について
- ◆市営清哲林道の整備について
- ◆ばらの木用水の水質保全について

入札制度改革について

**副議員** 全国市民オンブズマン連絡協議会が発表の入札調書の分析結果によると、山梨県の平均落札率は93・9%で2年連続全国最高、談合疑惑度は全国3位です。

**市長** 入札に際しては、適正に入札が行われるよう競争性、透明性の確保に努め実施していますが、現在県内他市の状況を調査し、協議制の廃止などを検討をおこなっています。

中心市街地のまちづくりについて

**副議員** 大型店の進出や住宅地の郊外への拡大により中心市街地の空洞化と、人口の減少と高齢化が進み、中心市街地の活性化が一向に改善しない状況です。市は、空き店舗の改修や家賃の一部を補助していますが、成果は得られていません。

**市長** 本町通りから駅前中央通りの中心市街地は甲州街道の宿場町としての歴史的空間や、文化資産を有している場所であり、居住環境の整備と地域のにぎわい創出のためには、そこに居住する人たちのライフスタイルに沿った視点と外部から人を呼び込む交流拠点と

西中学校の円野清哲地区の通学路の安全対策について

しての役割があると認識しております。

**副議員** 主要地方道の交通量が増加して、歩行者や自転車通学する生徒の交通事故の発生が危惧されます。

**市長** 市民バスを利用すれば問題はありませんが、クラブ活動に適当なバスが無いことから自転車通学しています。

**副議員** 農免道路に歩道設置の要望を行ったところでありますが実現性について伺います。

**市長** 農道を市道に移管するなど、有利な補助事業の活用策も含めあらゆる角度から検討してまいります。

横内市政2期目の将来像について

**副議員** 中央の政局がまさに混迷する昨今、横内市政2期目を迎えました。時局は決して楽観を許されるものではありません。農業商業の後継者の激減と衰退、景気の低迷、税収の減少、人口の減少等々の厳しい環境の推移する状況下に、市長の提唱する新たな、夢と感動のテーマシティへの将来像とは、夢とは、いったい何をもって感動とするのでしょうか。

**市長** 本市の将来都市像「夢と感動のテーマシティ」についてでありますが、市民一人ひとりが幼年期から高齢期まで、さまざまなライフステージにおいて、安心して暮らせ、ふる里葦崎に住んでよかったと実感できる希望、願いを夢と表現したものであります。本市を訪れる人々が、本市の恵まれた自然環境や歴史、文化資源など、さまざまな魅力に触れることにより、そのすばらしさや奥の深さに感動することを表現したものであります。

市道(葦崎)1号線について

**副議員** 本年度651万円の調査予算を計上し、その結果と市民会館解体後の観音山公園構想、平和観音、火葬場、墓地等の整合性はどうか。

**市長** 現地測量及び調査をもとに幾つかの案の概略設計が提示され、バイパス案は莫大な費用が必要とすることから、現道を拡幅し、幅員5mの整備が最適な手法となりました。

また観音山公園と市道の整合性については、本年度詳細設計時、公園計画も視野に入れ、整合性や財源の確保も含め合理的効果的な事業計画を立案してまいります。

**副議員** 重点施策また個性ある施策、文化施策は

**市長** 数ある重点施策の内2つを示すならば、市民交流拠点の創出として、市民交流センターの管理運営事業と、勤労青年センターの人工芝化及び管理棟の大規模改修事業による生涯スポーツ推進の強化であります。個性ある施策は、中学3年生まで拡大した子供医療費の窓口無料化と、補正予算に計上した、のれんのある町並みづくりであります。文化施策では、ふる里偉人資料館や、大村美術館の運営事業であります。

その他質問

- ◆男女共同参画社会について
- ◆多文化共生社会について
- ◆定住促進住宅について
- ◆校庭の芝生化について



秋山 泉 議員  
【共伸クラブ】



森本由美子 議員  
【公明党】

## 市立病院の人工透析の導入について

**議員** 毎年人工透析を必要としている方がふえており、最寄の病院では待機者も増え、患者も家族も大変不安を抱えています。誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して2期目に当選し、市民の皆様の命を預かった市長としては高いハードルを越えていただき、前向きに検討していただきたいと思いますが、見解は。

**市長** 人工透析の必要性は認識していますが、現在の医療体制を効率的に最大限に維持することが重要であると考えます。将来医療スタッフが充足できた場合には、検討したいと考えています。

## 農業振興について

### その他質問

- ◆日本脳炎ワクチン接種について
- ◆市民参加型公募債の発行について

**議員** 2010年度の農業センサスにより、本市の総農家戸数、そのうち専業農家、兼業農家戸数を5年前と比較して推移はどうか。

**市長** 5年前と比べ総農家戸数は176戸減少して1,469戸、専業農家は89戸増加して459戸、兼業農家は265戸減少して1,010戸であります。

**議員** 本市の長期総合計画では認定農業者を平成19年の97人から平成30年には130人とするとしており、農業に対する市民満足度は54%から70%へ上げようとしているが、本市の目指す農業の将来像をどう考えるか。

**市長** 全国的に高い評価を得ている本市の農産物や生産技術などの貴重な財産を継承し、地域性を生かした農業の育成に

向け基盤整備や担い手育成、経営安定化の支援など、ハード、ソフト両面でサポートを強化していきます。

**議員** 新規就業支援については。

**農林課長** 農林課窓口でワンストップサービスとして、農地の斡旋、経営の相談、技術の指導などを行っています。

## 新学習指導要領への対応について

**議員** 学習内容が増えることで学力の格差を不安視する声があるが、地域の学習ボランティア等の学習サポートも必要ではないか。

**教育長** 昨年度、穂坂小学校では教員養成課程をとっている大学生と教師と一緒にチームティーチングを組み教えていただいた。今年度も穂坂小が希望している。

## 国民健康保険について

**議員** 国保には現在、市民の約40%が加入しています。景気の停滞で、国保税収の減少や医療費の高額化による増加で、平成23年度予算では、国保財政調整基金を約1億8千万円取り崩し、基金残が約9百万円になると予測されています。インフルエンザ等が流行した際、加入者は安心して医療を受けられるのでしょうか。

**市長** 医療費の突発的な増加に対し、来年度は医療費の伸びを約3%見込んでいます。また、基金が少ない分予備費を3千万円計上して不測の事態に備えていく予定です。

## 市民の健康、がん検診受診率向上対策について

**議員** がん対策基本計画では、2011年までに受診率50%以上の目標を掲げています。乳がん・子宮がん・胃がん・肺がんなどのがん検診受診率目標を目指した市の取組み、また、健康・特定健診の目標達成のための市の取組みは。

**市長** 各種がん検診の受診率向上対策については、市民の皆様に対し、がん検診の必要性を促したり、受診しやすい環境の整備を行うことで、向上に努めてまいります。次に、特定健診の受診率目標を目指した市の取り組みは、明年度、国保の未受診者対策事業の導入や健診の事前希望調査などを検討し、さらに、電話や訪問による受診奨励をきめ細かく行い、受診

率向上に努める考えです。  
**議員** 無料クーポンによって、乳がん、子宮頸がんの検診受診率は向上した半面、働き盛りの50歳代で発生の多い、肺がん、胃がん、大腸がんの検診は、本市でも前年の横ばいかそれ以下になっています。

**市長** 大腸がんについては、平成23年度に国がクーポン券によって大腸がん検診を実施する予定です。国より市町村への具体的な実施方法などが示されましたら、すぐに体制を整え、この検診ができるようにしたいと考えております。



小林 伸吉 議員  
【公明党】

### その他質問

- ◆子ども手当について
- ◆グリーン電力(熱)の証書発行・活用について



矢崎 六彦 議員  
【市清クラブ】

その他質問

- ◆鳥、新型インフルエンザ対策について
- ◆住宅用火災警報機器設置状況について

平成23年度  
当初予算について

議員 横内市政2期目の新規事業には。

市長 市民バスの利用料金の見直しやデマンドバスの試行運行を初め、子供医療費無料化の拡大、持家住宅定住促進助成金の創設など数多くの事業を予算計上しました。

議員 特定鳥獣保護管理事業の中の捕獲個体処理費（イノシシ100頭、シカ200頭、猿200頭）計上の決定根拠は。

市長 捕獲頭数決定の根拠については地域からの被害状況の報告や猟友会などが対応可能な頭数及び県の保護管理計画の割当上限頭数などを考慮し決定したものです。

議員 景気、雇用対策

の中で、我が市の小口工事業業について、21年度、22年度の発注明細を示してほしい。

市長 21年度は461件、3千683万9千8百円。22年度は314件、2千159万7千円です。（議員：市内の景気回復、雇用対策にも有効で、小口工事業を増やすべき）

水道、下水道事業  
について

議員 我が市の水の確保は市内水源より2200t、塩川ダム水9300tでまかなっている。ダム水の供給単価1m100円を構成三市一体となり値下げを県に申し入れるべきと考える。

市長 一昨年、構成三市で受水費の値下げの検討をしたが修繕費等の大規模な投資的事業が発生することから見送りました。

経過がある。今後も構成三市で県への負担要望を検討します。

議員 下水道事業については現在50%の進捗率であるが、現在の起債残高の金額は、また事業終了時期と起債残高はどの位になるのか。

市長 起債残高は平成22年度末見込みで95億6千万円を見込んでおります。

我が市の高齢者支援  
について

議員 「ワンコインながいさサポート事業」の実施を提案する。

市長 峡北シルバークンターに事業実施が可能か検討させていく。

七里岩・地下壕平  
和公園開所について

議員 七里岩・地下壕平和公園の対応は。

市長 これは市民の考えのもと開所したものであるが今後も国の指導に基づき継続して安全確保を図ってまいります。

防災対策の強化と  
減災力の向上を

議員 11日の地震と津波は、被害を最小限に抑える事前の対策と、災害が起きたときの対応の必要性を示しています。小田川分館での、防災をテーマにした生涯学習の集いは、有効でした。減災意識を向上させる研修を、市のイニシアチブでNPO法人とも協力し、

全地域で実施していくことを求めます。避難所毎に、防災組織と合同で、避難所を運営するための訓練を、市の防災訓練に組み込んでいく考えはあるのか伺います。地域での人材育成、また専任職員を配置することについて、市の見解を求めます。

市長 自主防災組織、NPO法人並びに関係機関と連携を図るなかで、避難所運営訓練等、市がイニシアチブをとり積極

的に実施していく。地域の人材育成は、県による地域防災リーダー養成講座や防災士資格取得助成金制度を活用し、拡大化を図っていく。専任職員の配置は、研修制度などを活用しながら専門性を高めていく。

放課後児童クラブ  
の有料化について

議員 市は、児童センター内併設の放課後児童クラブの利用料を有料化しようとしています。平成9年から利用料無料で実施されてきました。子育て支援に力を入れている

市は、児童センター内併設の放課後児童クラブの利用料を有料化しようとしています。平成9年から利用料無料で実施されてきました。子育て支援に力を入れている

心身障がい者（児）  
年金の廃止について

議員 心身障がい者（児）年金は、年一回支給の市単独の事業です。4月から特別児童扶養手当、特別障害者手当、障害児福祉手当、特別障害給付金などが、引き下げられます。この市独自の制度を継続すれば国の手当の減額の補填ともなります。廃止すれば障がい者にとつては二重の減額となります。こうした時期に廃止すべきではありません。見解を求めます。

市長 外部評価委員会のご意見も踏まえた中で、支給額や低い支給率を考慮した上で、廃止することにした。



小林恵理子 議員  
【日本共産党】

その他質問

- ◆2011年度当初予算について
- ◆出生奨励金の廃止について
- ◆長寿・敬老祝金の縮小について
- ◆新市道（藤井）6号線の改良について



**神田 明弘** 議員  
【日本共産党】

その他質問

- ◆中小企業対策など  
 市活性化について
- ◆TPP参加に市として  
 反対の声を
- ◆地方自治をめぐる  
 「二元代表制」否定  
 論について

**住宅リフォーム助成制度の実施を**

**副議員** 住宅リフォーム助成制度は、潜在的な住宅リフォームの要求をすくひあげ、市民が安心して住み続けられる住宅を確保し、市内の消費拡大をはかるとともに、市内の工務店など地域の中小業者への仕事に結びつけるものでありとりわけ経済効果が大きいものです。市で住宅リフォーム助成制度を実施した場合、どれだけの経済波及効果があるのか。助成は、10分の1とし、上限は20万円として、山梨の「産業連関表」をもとに算出すると23・3倍です。この制度を実施すべきです。

**市長** 「プレミアムふれ愛商品券」の活用により、中小零細建設業者の活性化に寄与している。明年度も1億1千万円の

実施を予定している。

**を 国保税の引き下げ**

**副議員** 私は、これまで市独自の異常な国保税の滞納者の実態、また圧倒的多数の国保加入者が低所得者であり、一般会計から法定外の繰入れをおこなうなどを要求してきました。

市の国保の当初予算では、2億近い基金を取り崩しました。この結果、基金の年度末残高は1千万円をきりました。このままでは、国保税の引き上げを考えなければならぬのではありませんか。これ以上の国保税の引き上げは無理です。

**市長** 国保財政は、今後、大変厳しい状況が続くものと考えられるところから、財源確保のため税率の見直しを検討していかなければならない

と考えている。

**策は 公営住宅の減災対**

**副議員** 公営住宅は災害とりわけ地震では、大きな被害を集中的に受ける場所です。

多くの公営住宅の減災のとりくみはこれからです。公営住宅の入居者は高齢者のひとり暮らしが増えて、火災による被害では、65歳以上の高齢者の死亡数が増えています。減災力向上のための努力が必要です。

**市長** 行政・自治会・地域住民が一体となって減災力向上に努力する考え。

**市長の政治姿勢について**

**副議員** 4月10日投票の県議会議員選挙において横内市長は、「選挙の恩は選挙で返す」と、特定候補の支援を表明しました。もとより公人たる市長は、全ての市民に差別することなく、公平中立の立場を貫くのが本来の姿ではないでしょうか。あえて火中の栗を拾うごときの暴走は、厳に慎むべきと、良識ある市民は警告を発しております。市長の真意をお伺いします。

**市長** 県議選についての私のどうのこうのではありませんが、私の個人的な政治姿勢並びに県議選の対応については、市議会会議規則第62条、一般質問は市の事務について質問できる規定により答弁は差し控えます。



**清水 正雄** 議員  
【市民クラブ】

その他質問

- ◆平成23年度一般会計当初予算について
- ◆東京エレクトロンAT社移転の影響について

**副議員** 市民の代表である市長が公人の道を外して市民にひんしゆくを言う行為にも議員は質問できないですか。

**市長** ひんしゆくをどなたの方が買っているのか、よく私自身理解しておりません。

**ふるさとを学ぶ教育の推進について**

**副議員** 現在の教育において、一般的に指摘されていることは、子供が地域を知らない、身をもって体験する機会がない、と言われています。対策として、ふるさと教育の推進が重要視されているところでは、自分のふるさとに自信と誇りが高まり、体験を通じて喜び感動を覚える、それがふるさと教育の真髄であります。ふるさとを発信する特色ある教育について、本市の取り組みをお伺い

**市長** 現地の状況を確認し、管理者である県に早急に対応を要望したところでは、県としても現地を確認した後に、その対応について、検討していくとのことであり

します。

**副議員** ふるさとを発信する特色ある教育については、教育委員会で編集した「わたしたちの市」を教材として使用し、高学年は県全体を対象に「ふるさと市」を知ろうのテーマのもとに、環境・産業・観光など、分野別に市内を見学し郷土の理解に努めます。

**塩川堤防の補修について**

**副議員** 富士見1丁目区内で、塩川堤防の石積みが崩れている箇所や膨らんだ箇所が発見されました。この堤防は過去に決壊した所ですので不安です。早急に補修するよう県へ要求すべきです。

**市長** 現地の状況を確認し、管理者である県に早急に対応を要望したところでは、県としても現地を確認した後に、その対応について、検討していくとのことであり

昨年に引き続き「議会報告会」の開催決定

# 「住民目線の議会像」 をめざして

韮崎市議会 議会報告会



## ★「あなたの眼には市議会はどのように映っていますか？」

日々の生活の向上、暮らしやすさ、市議会では住民の皆さん、そして韮崎市の今と未来のために大事な決定をしています。

そして、住民の皆さんの大切な税金の使い道を決めさせていただいているのも市議会です。でも、いまの市議会は皆さんの眼にどのように映っているのでしょうか。不安や心配、また疑問なことはありませんか。

市議会が住民に信頼され、よりよいまちづくりを進めて効率的な行財政運営を図るには、住民と市議会が連携することが最も大切であると考えています。

いま私たち韮崎市議会では、市議会の機能をより高めるための取り組みと、住民の皆さんにより信頼される市議会づくりのために、全員で改革に取り組んでおります。

そのためには、多くの住民のみなさんの力を必要としております。

## ★「あなたが求める市議会像とは・そして市議会議員像とは」

住民目線の市議会を目指して、改革に取り組んでいます。

あなたのご意見、ご要望を「議会報告会」に参加して、直接届けてみませんか。韮崎市議会では第2弾、昨年に引き続き「議会報告会」を開催します。

ぜひ、ご参加ください !!

### 『議会報告会』 実施日程

- ◆北西地区：6月28日（火）《清哲会館》
  - ◆北東地区：6月28日（火）《穴山町ふれあいホール》
  - ◆甘利地区：6月30日（木）《大草ふれあいセンター》
  - ◆韮崎地区：7月 1日（金）《にらさき文化村》
  - ◆穂坂地区：7月 2日（土）《穂坂町コミュニティーセンター》
- ※開催時間は 午後7時30分～9時30分です

■持参してきて頂きたいもの：筆記用具・その他

■お問い合わせ：議会事務局 直通 ☎0551-23-1211  
市役所 ☎0551-22-1111（内線513）



(写真：宮城県気仙沼市本吉町で活動する峡北消防本部隊員)

峡北消防本部の隊員は、山梨県知事からの出動要請により、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の発生当日午後5時半には消防本部を出発し、緊急消防援助隊の山梨県隊として3月11日から4月3日までの間に延べ12隊48名が出動し、宮城県内で活動してきました。

## 編集後記

3月11日に発生した東日本大地震と、その後の福島第一原子力発電所の悲惨事には、計り知れない被害を与えるとともに、日本のあり方を根底から覆してしまうほどの圧倒的な破壊力を見せつけられました。

もちろん日本や日本人は必ず立ち直り、復興されるであろうことは疑う余地もありませんが、まだまだ多くの時間や費用を必要としています。引き続き日本中からの支援を続ける必要性を痛感しています。

また、被災後に実施された計画停電は、市民生活に大きな支障を生じさせました。

今年の夏は更なる電力不足が予想されています。一人ひとりが節電に努め、計画停電にならないよう心がけましょう。

議会だより編集委員会

委員長 嶋津 鈴子  
副委員長 横森 宏尹  
委員 秋山 泉  
藤嶋 英毅  
森本由美子  
石井 錦一  
望月 正澄

- 6月 9日 開会  
諸報告  
市長所信表明
- 20日 一般質問
- 21日 一般質問
- 22日 議案審議  
(財務・委員会)
- 24日 議案審議  
委員長報告  
閉会

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定されます。

※委員会を傍聴する場合には事前に申し込んでください。

※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。

## 6月定例会日程